※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて 考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や 美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯に わたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め， 美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく 態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ ・表現トレーニング 「思い出して描いてみよう」	a:描くこと作ることの基本的な姿勢を身近なことを思い出して描くスケッチを通して理解する b:身の回りの事物を日頃からよく観察し、特徴を掴んで表現することなど理解する ｃ:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
	ピクトグラムで自己紹介	【デザイン】 ・ワークシートでピクトグラムのデザインのポイントを学ぶ ・アイデアスケッチ 自分の好み、得意、不得意、性格などリストアップしスケッチ ・スケッチから４点選び作図、彩色する	a:ピクトグラムの機能、効果を学びを適切に表現できる 形の省略、構成、演出を組み合わせ効果的な表現ができる b:ピクトグラムの構成要素を適切に組み合わせ効果的な表現を構想できる c:絵具やマスキングテープ等適切に扱い丁寧に意図したものを表現できている	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
2学期	生物モチーフの銅箔オブジェ	【彫刻・立体】 ・アイデアスケッチ 資料を参考に生き物の特徴的なフォルムを捉え、表現したいテーマを考える ・制作 生物の特徴ある部分を様々な角度から捉え表現する 銅箔シールを表面に貼るため乾燥した粘土表面を整える 銅箔シールで表面を覆い絵具で燻し風に仕上げる	a:様々な生物の特徴的なフォルムから、造形的な面白さ良さを感じながら様々な角度からスケッチすることができる b:動き、量感など自分なりの主題を生成し、表現の構想を練っている。 c:素材の特性、加工法を理解し形を丁寧に造形できる	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品

※令和４年度以降入学生用

	見えない絵画鑑賞	【鑑賞】 ・クラスを 2 班に分け、それぞれ違う絵を観てその絵を説明する文章を書く ・お互いの文章を交換し、その文章から情報を集め、元の絵を想像して描く	a:元の絵を観て自分なりの表現で相手に伝えようと少しでも多く文章化できている b:それぞれの文章を読みとり気になる表現をメモし、必要な情報を得ようとしている c:読み取った情報を自分なりに受け止め、再構成しようとしている	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
3学期	リレーコラージュ	【絵画】 ・それぞれが与えられた資料から気に入った画像を選び、大きな模造紙にスケッチする、次に隣の机に移動し前の人が描いた絵に反応しながら絵を描き足していく。時間を区切って次々机を移動し、目の前の絵を素材にしながら、模造紙に絵を描き足していく。	a:様々な種類も違う絵、大きさ、組み合わせの面白さを考えて描こうとしている。 b:人が描こうとしていた部分を引き継ぎ、そこに新たな要素を加えて発展させようとしている c:コラージュの技法的な面白さを見出し、積極的に表現しようとしている。	制作の様子 制作途中の作品 提出作品	制作の様子 制作途中の作品 提出作品	制作の様子 制作途中の作品 提出作品
	レイヤー絵画でコラージュ	【絵画】 ・素材トレースの練習 ・アイデアスケッチ ・3 枚のプラ板に奥行き感を考えながら、油性ペンで絵を描いていく ・裏面から彩色 ・3 枚隙間を作りながら組み立てる。	a:トレースのやり方を理解し多彩な組み合わせで描こうとしている。 b:レイヤーを用いた表現について奥行き感を出す効果的な表現の構想を練っている c:レイヤーを組み合わせて適切にトレースの線画、裏面からの彩色を行うことができている	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度